

グループホーム「櫻」第41回運営推進会議議事録

日時 平成28年10月25日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 1F ホール
出席者 運営推進会議委員
中部地域包括支援センター 管理者 代理 赤松 信子
逗子市民生委員 中田 美代子

委員4名中 2名出席、欠席2名

医療法人社団柏信会 看護部長 岩木 和子
グループホーム「櫻」 管理者 須山 司
主任 阿部 悟史

会議概要

1. 開会の辞

定刻、管理者は各委員に本日の出席を謝すと共に家族会代表の今井真智子氏が、平成28年9月を持って退任された旨を報告する。現在平行して家族会代表者の選考準備に取り掛かっている事をお知らせする。

また初出席となる阿部を紹介した後に本日の議案、進行について説明を行う。

2. 理事長挨拶

公務にて理事長欠席のため行われず

3. 議題等

(1) 報告事項

ア 入居者の現況及び活動状況について(資料により説明)

: 入居者の現況

ユニット合計にて説明。

要支援2 0名は増減無し

要介護1 2名は増減無し

要介護2 6名から7名 1名増

要介護3 4名は増減無し

要介護4 2名は増減無し

要介護 5 4名から2名 2名減

：ご利用者入退居

 ご利用者 1名入居、2名退去

：地域（行政）別内訳

 逗子市 16 名

 葉山町 1 名

：活動状況

 月刊の「さくら」7月号、8月号、9月号で概要を説明する。

 各月のレクリエーション実施状況

 今後の櫻のイベント予定等

イ 新人研修（櫻内）、機会教育について

 ：機会教育は職員配布した資料をもとに説明、職員各自から感想を集めており、次回機会教育のデーターとする。

 ：新人研修は9月26日（月）「誤嚥性肺炎と予防について」を開催、勉強会資料より内容を説明する。

（2）その他

管理者は各委員の了承を得て意見交換・情報交換を行う

管 ：何かご意見はございますか。

看 ：新人教育の勉強会資料を拝見し、今後の研修・勉強会にて医療分野が関わる場合は、事前にお知らせくだされば院長先生よりアドバイスを頂けますので、是非声掛け下さい。

管 ：お気遣い感謝します。

管 ：先日開催されたラン伴についてご存知ですか？

 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、タスキを繋いで日本を横断する企画です。

包 ：知っています。先日逗子を走っていましたよね。

管 ：ご存知ですね。ラン伴には理念を共有する団体が自主開催して行うラン伴+というのがありまして、三浦半島から鎌倉までのコースが設定され開催されました。

委 ：楽しそうなイベントですね。

包 ：今後はラン伴やオレンジカフェ等、認知症になってもその人らしく

地域住民と交わる機会が増えていきますね。

管 : 前回の運営推進会議でも話しましたが、地震災害時の対策セミナーに参加したのですが、準備しておくもの、行動、地震直後にすべき順位等、とても興味深い内容でした。櫻でも資料として纏めたいと考えています。

看 : 準備しておいたほうが良い物を具体的に幾つか教えて下さい。

管 : 特に強調された物を3点。

ホイッスル、防塵マスク、衛星携帯電話を講師は強く勧めていました。

: ホイッスルは職員各自が身に付けておく事で、生き埋めになったさいの発見率が上昇するそうです。施設の場合は職員と利用者が一緒に居ることが多く、いち早く救出されるためには必需品との事。

: 防塵マスクは地震の揺れが収まった後の行動に不可欠で、実際の大地震の直後は埃や粉塵がすさまじくマスクが無いと救出作業や片付けが困難となり一般の使い捨てマスクでは粉塵を防御できないそうです。

: 最後に衛星携帯電話ですが、一般電話、携帯電話が不通となったさいの連絡手段です。相手が繋がる状態であれば衛星から国際電話経由で通信されるため、被災地の回線がダウンしていても大丈夫であるため1台あれば被災地外の協力者とコンタクトができます。

また、今までは衛星携帯電話の基本料金が割高だったため中々準備物としては一概にお勧めできなかったが、現在は大幅に下がっているため準備しておくことが可能である。

: 他にも色々ありましたので、資料作成のさいは明記しておきます。

管理者は意見交換等の終了を見計らい次回開催日を委員に諮る。

※ 次回開催予定：平成29年1月31日（火）14：00～15：00

4. 閉会挨拶

以上をもって会議終了を宣する。